

平成28年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

医療施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

医療事業の方針

事業環境

- ・ 医療制度改革に基づく医療と介護の再編
- ・ 超少子高齢化
- ・ 地域医療構想への対応
- ・ 診療報酬改定
- ・ 大規模地震等自然災害発生への対応

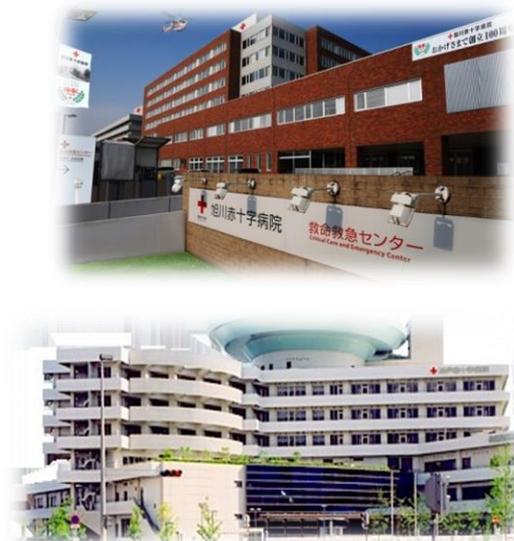
基本戦略

グループ運営体制の強化による総合力を活かした病院運営

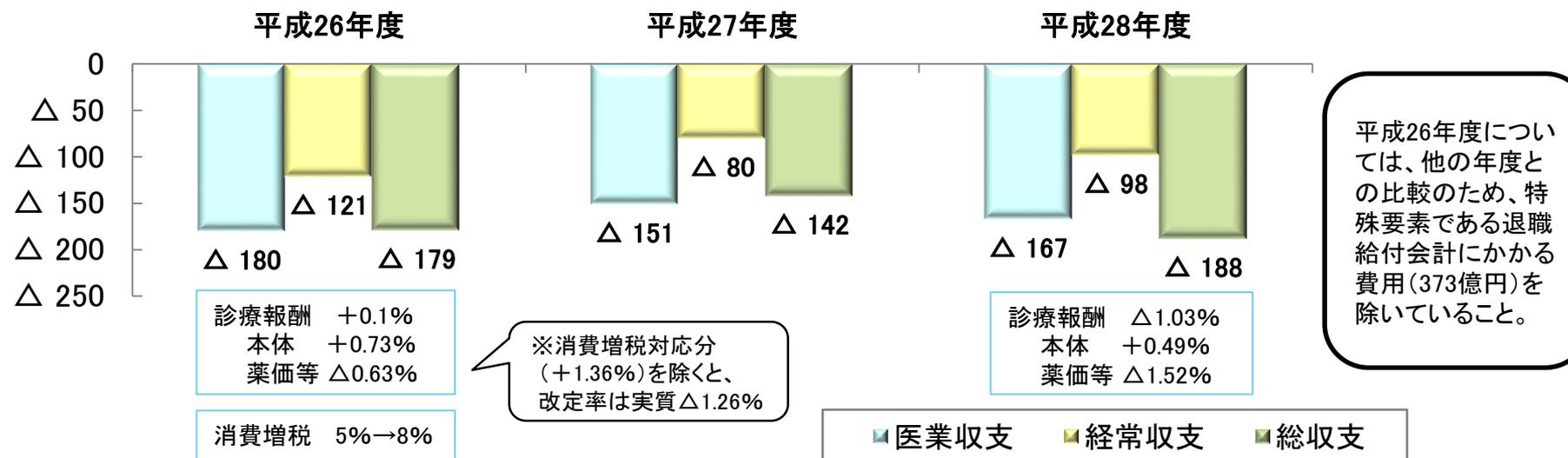
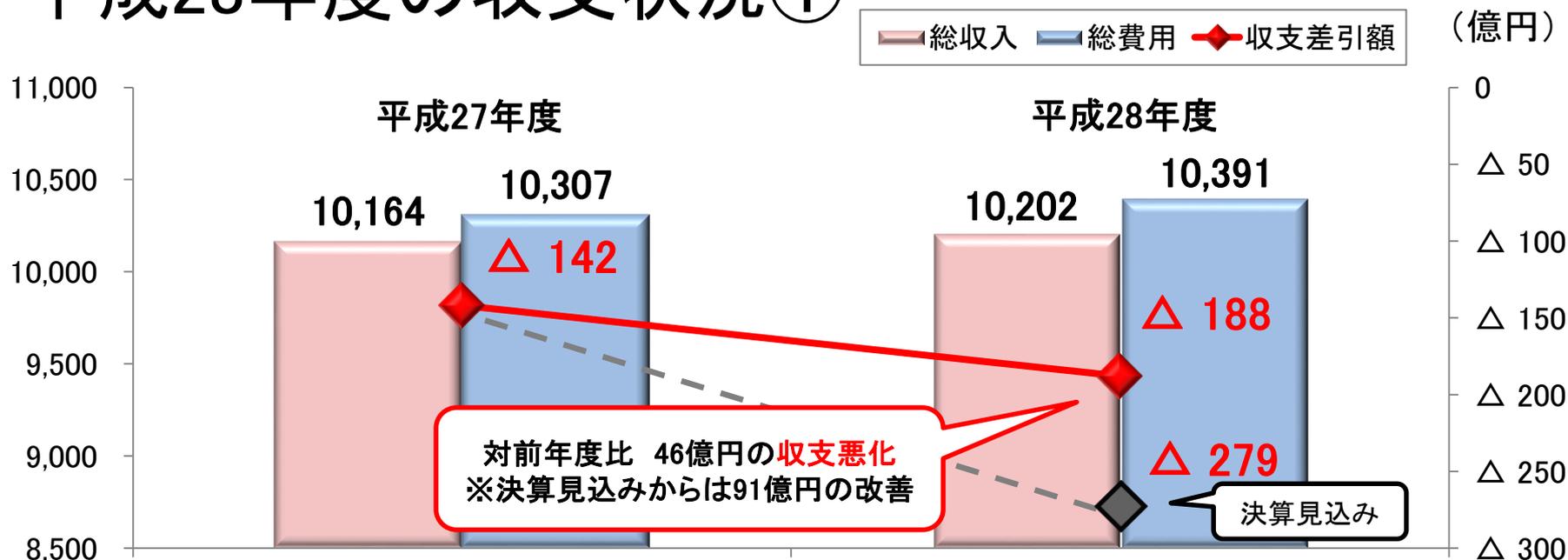
- ・ 「人・物・資金・情報」などグループにおける豊富な経営資源を相互に活用できる仕組みの構築
- ・ 経営支援体制の強化

施策

- (1) 経営の健全化
- (2) グループ経営資源の有効活用
- (3) 災害医療への取り組み
- (4) 地域医療への貢献
- (5) 安全・安心な医療提供体制の充実



平成28年度の収支状況①



(注) 1億円未満は切り捨てているため、総収入マイナス総費用は収支差引額と一致しません

平成28年度の収支状況②

(億円)

		平成27年度	平成28年度	増減
医業収支	本社勘定	△1.8	△2.4	△0.6
	施設勘定	△149.5	△165.3	△15.7
	計	△151.4	△167.8	△16.3
経常収支	本社勘定	△0.2	△9.8	△9.6
	施設勘定	△80.1	△88.8	△8.6
	計	△80.3	△98.7	△18.3
総収支	本社勘定	△0.2	△9.8	△9.6
	施設勘定	△141.8	△178.3	△36.5
	計	△142.1	△188.2	△46.1

(注) 0.1億円未満は切り捨てているため、計と増減は内訳と一致しない場合があります

2016(平成28)年度 診療報酬改定

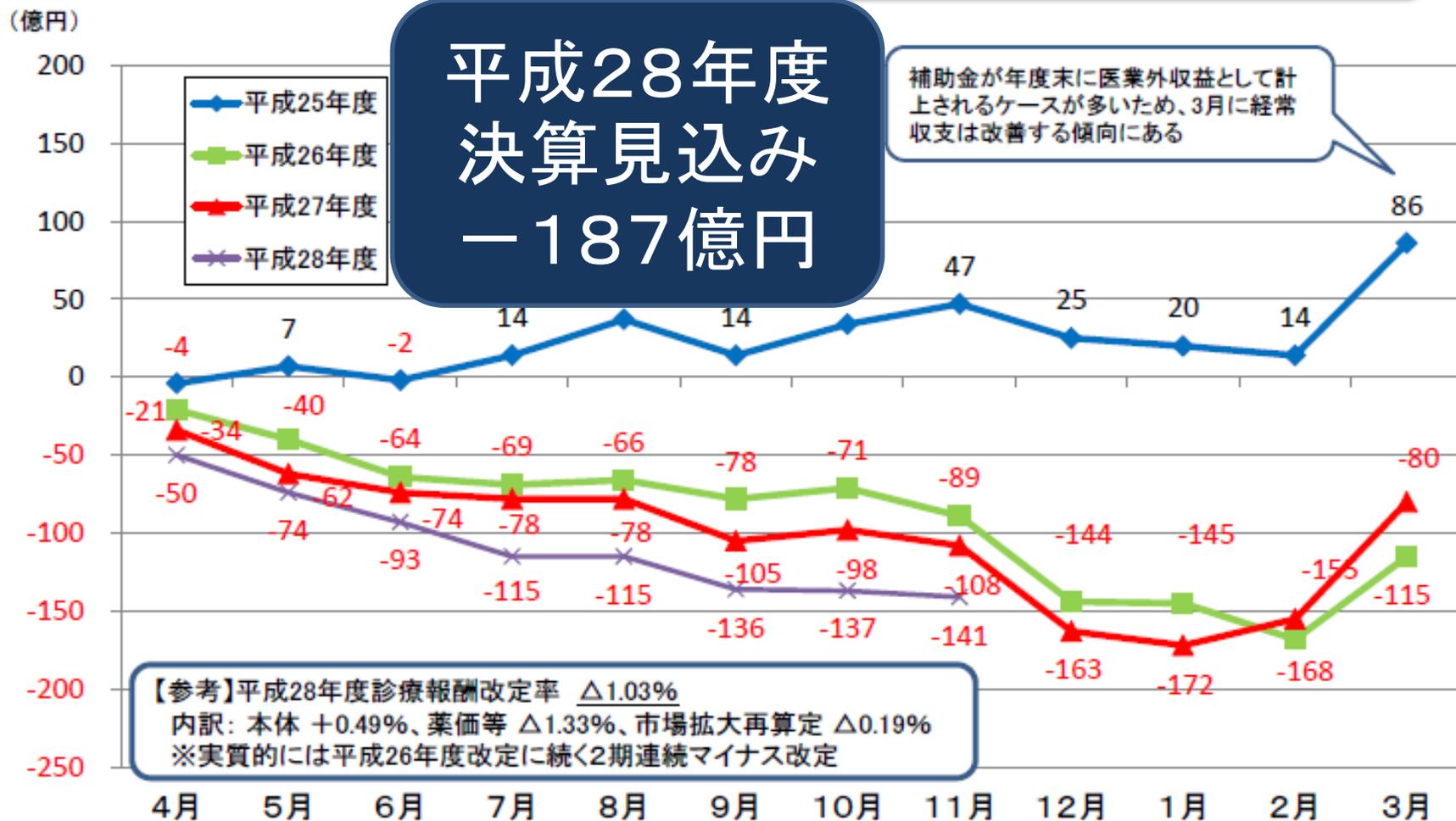
マイナス 1.03%
(社会保障費の伸びを
5,000億円に圧縮)

【経常収支の推移】

経常収支【累計】(平成28年4～11月)

平成28年度
決算見込み
-187億円

補助金が年度末に医業外収益として計上されるケースが多いため、3月に経常収支は改善する傾向にある

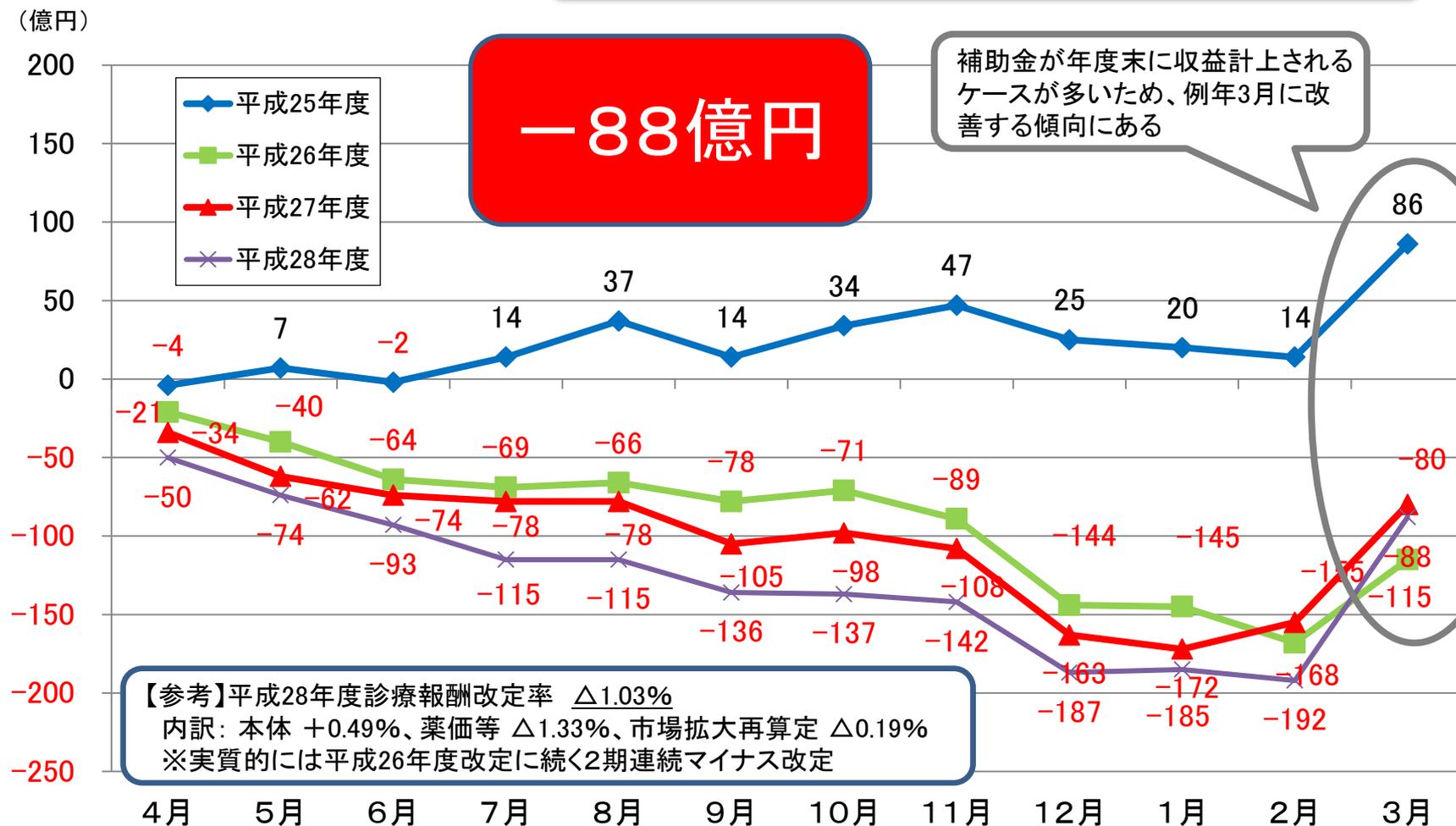


【参考】平成28年度診療報酬改定率 $\Delta 1.03\%$
 内訳: 本体 $+0.49\%$ 、薬価等 $\Delta 1.33\%$ 、市場拡大再算定 $\Delta 0.19\%$
 ※実質的には平成26年度改定に続く2期連続マイナス改定

※億円未満切り捨て

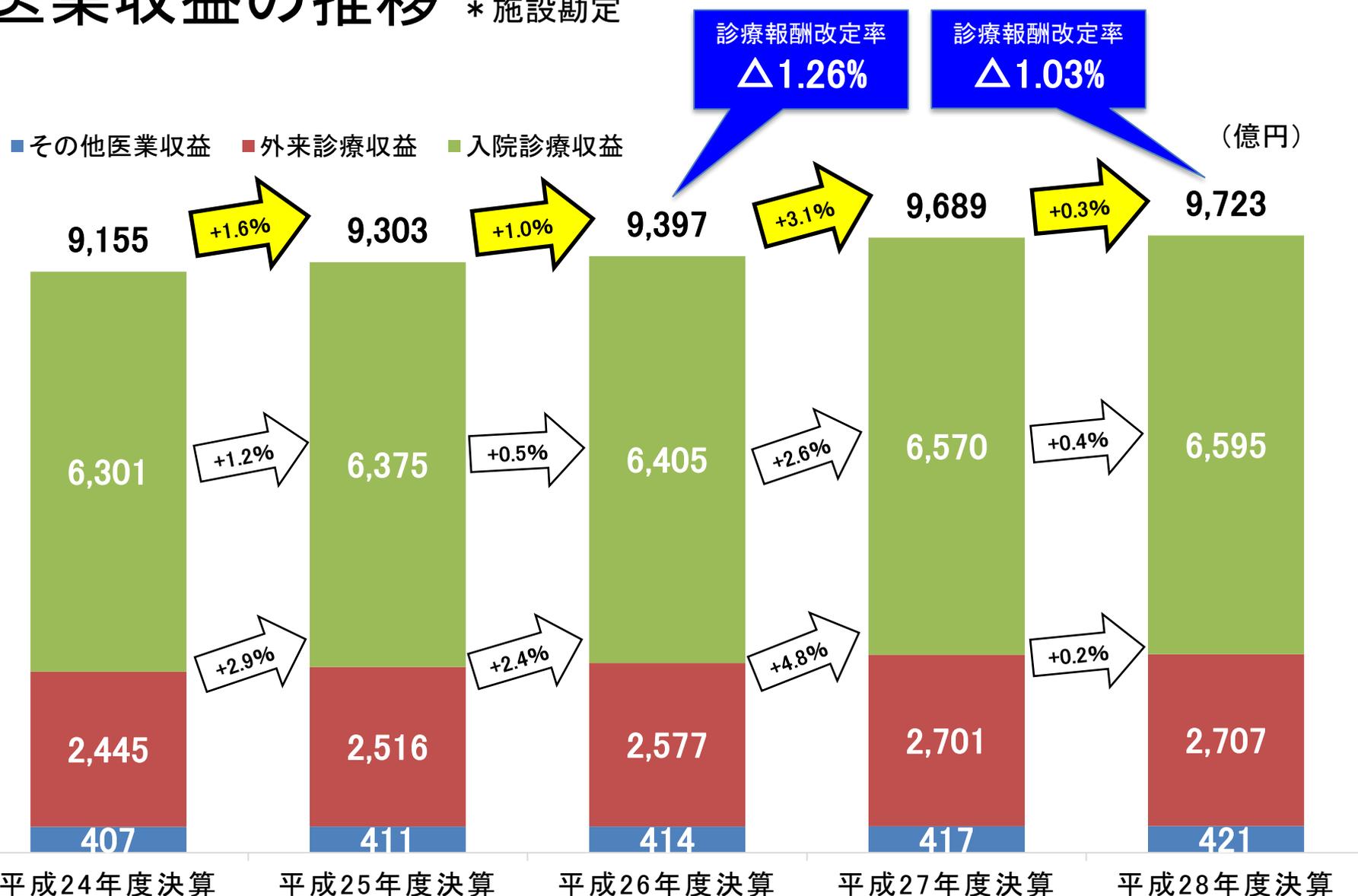
【経常収支の推移】

経常収支【累計】(平成28年4～3月)



※億円未満切り捨て

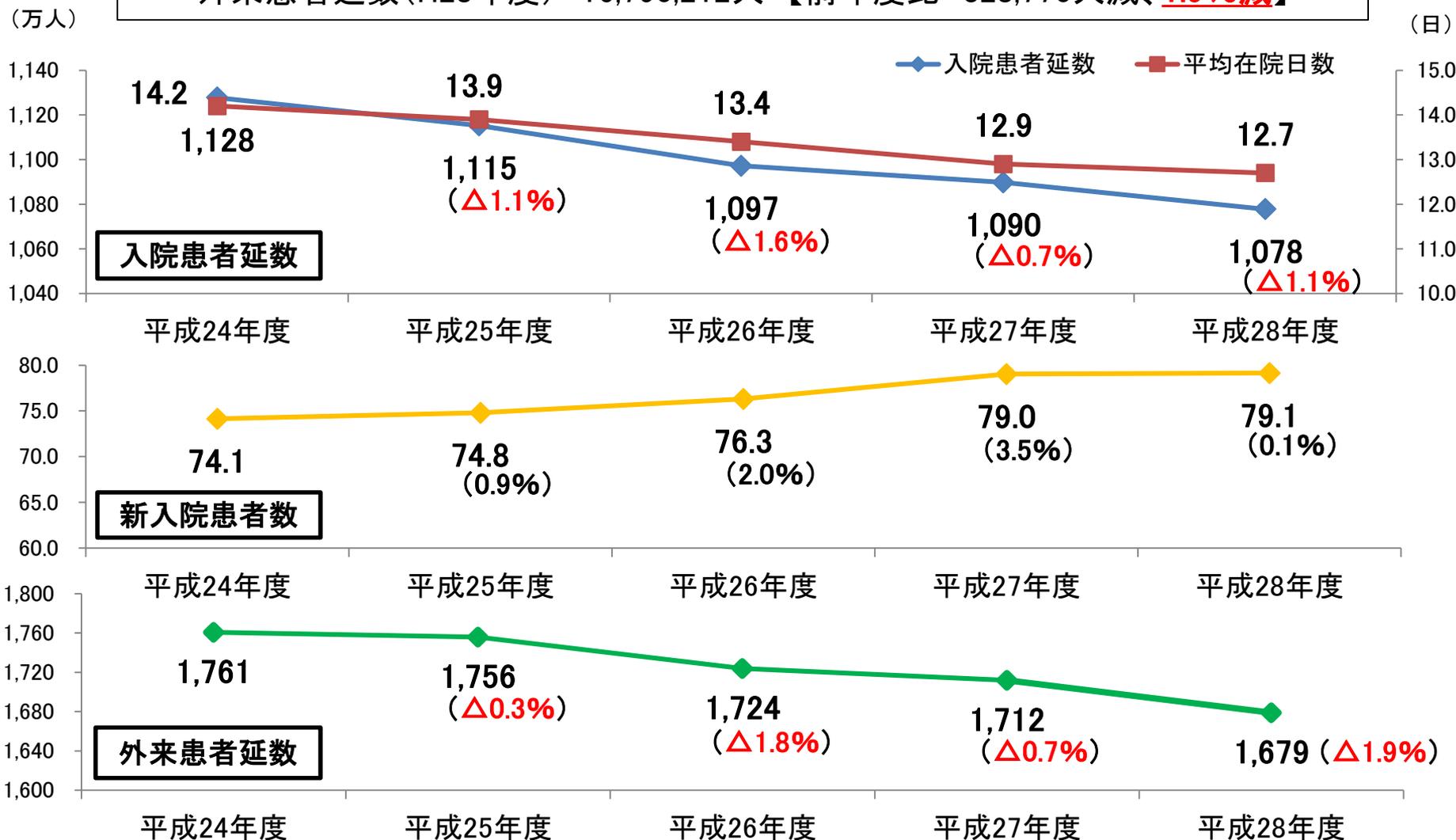
医業収益の推移 * 施設勘定



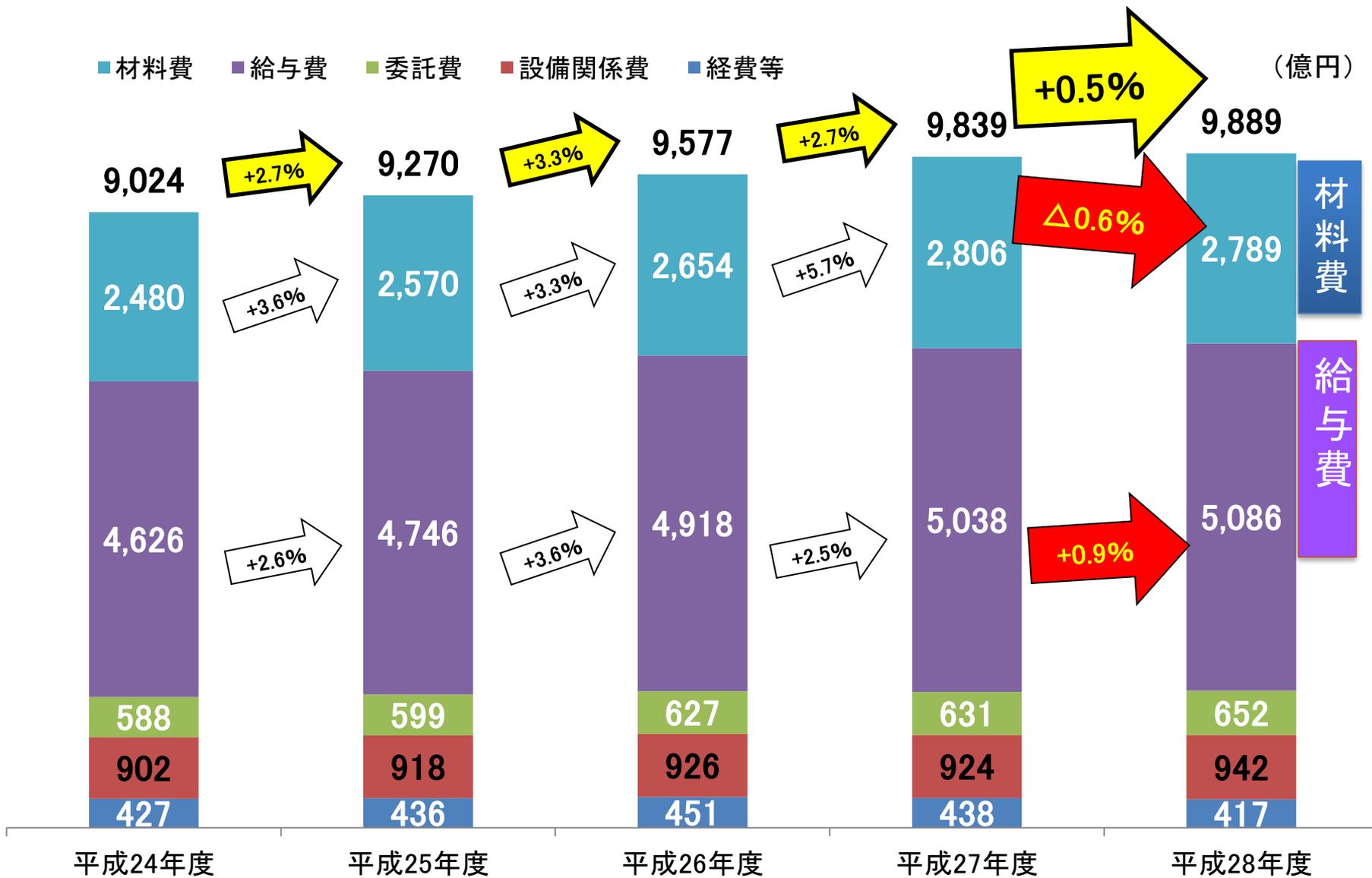
(注) 1億円未満は切り捨てているため、内訳と合計は一致しない場合があります

患者数等の推移

入院患者延数(H28年度) 10,778,002人【前年度比 119,427人減、**1.1%減**】
 外来患者延数(H28年度) 16,790,212人【前年度比 328,770人減、**1.9%減**】

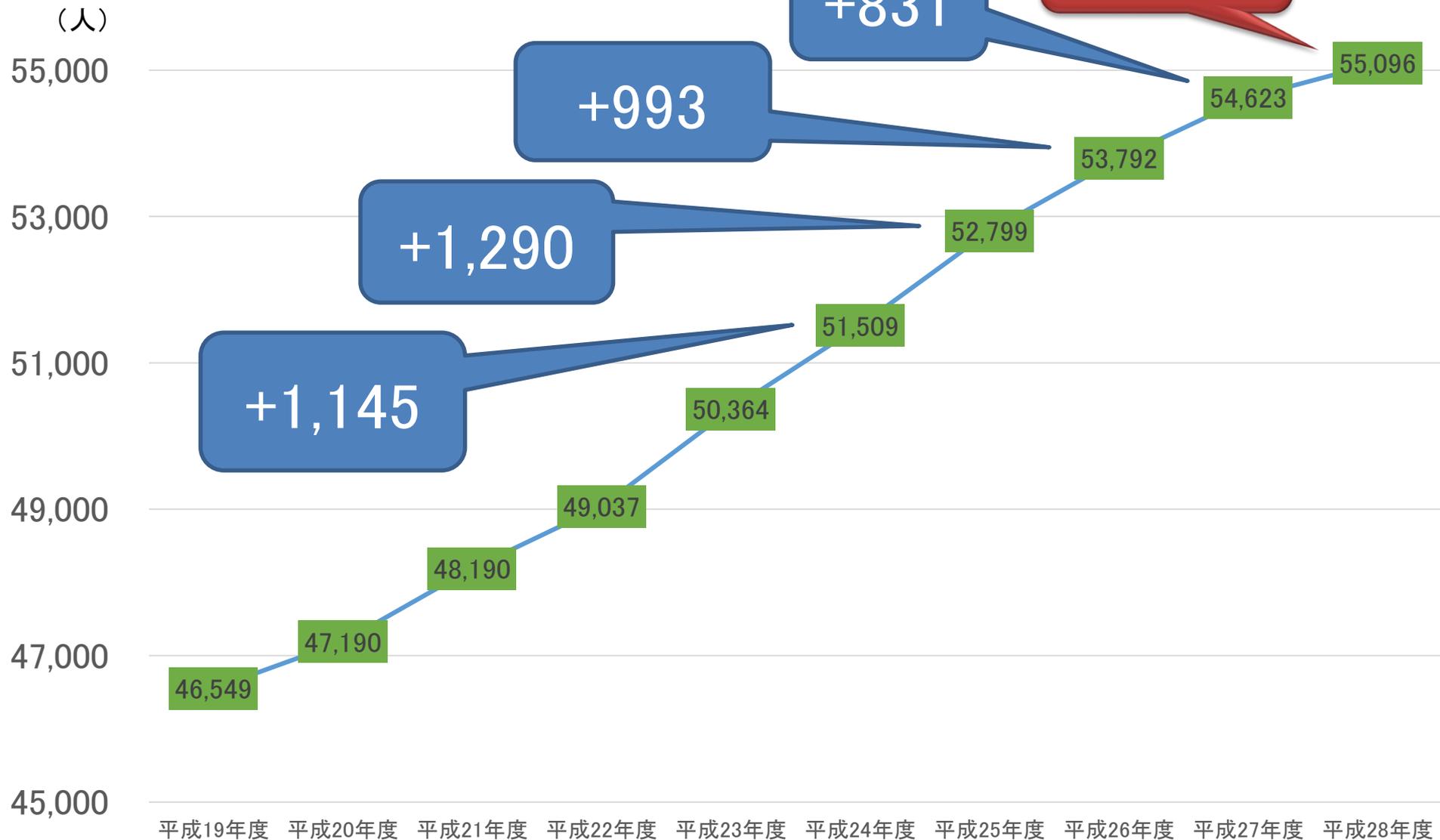


医業費用の推移 * 施設勘定



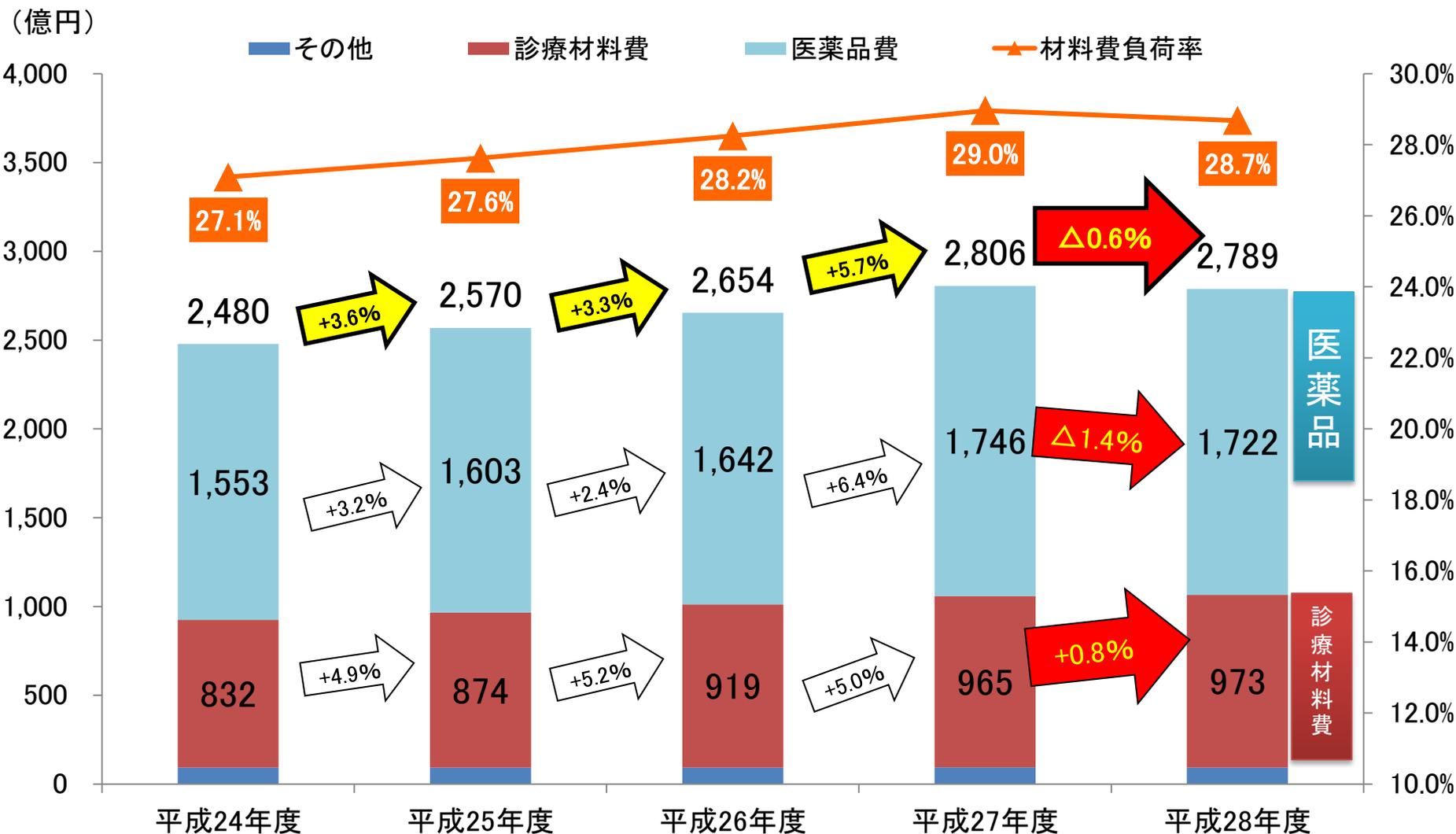
(注) 1億円未満は切り捨てているため、内訳と合計は一致しない場合があります

職員数の推移



材料費の推移 * 施設勘定

※1億円未満は切り捨てているため
内訳と合計は一致しない場合があること



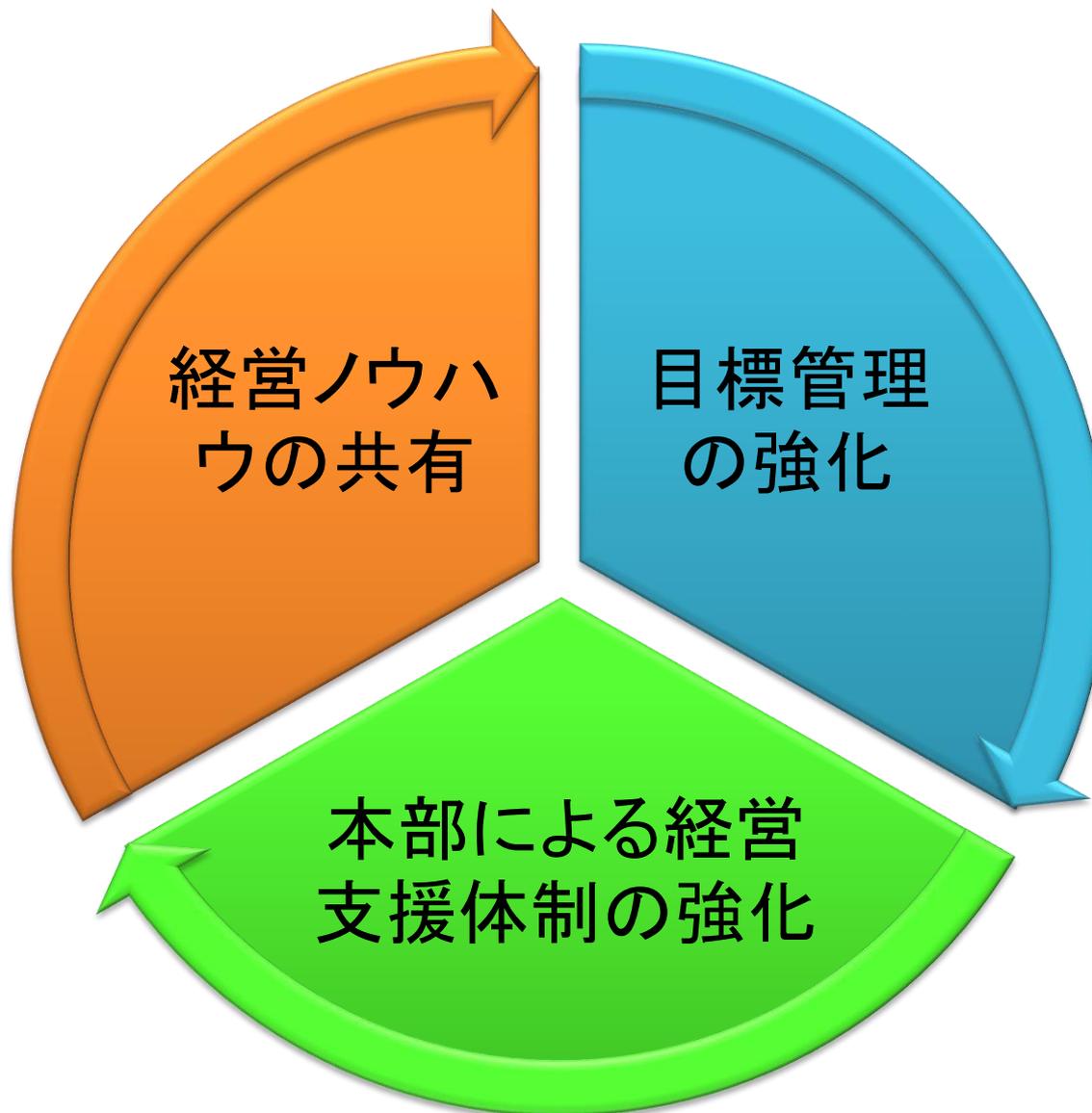
診療報酬 +0.004%
本体 +1.379%
薬価等 Δ1.375%

※消費税増税対応分
(+1.36%)を除くと、
改定率は実Δ1.26%

診療報酬 +0.1%
本体 +0.73%
薬価等 Δ0.63%

診療報酬 Δ1.03%
本体 +0.49%
薬価等 Δ1.52%

1. 経営の健全化



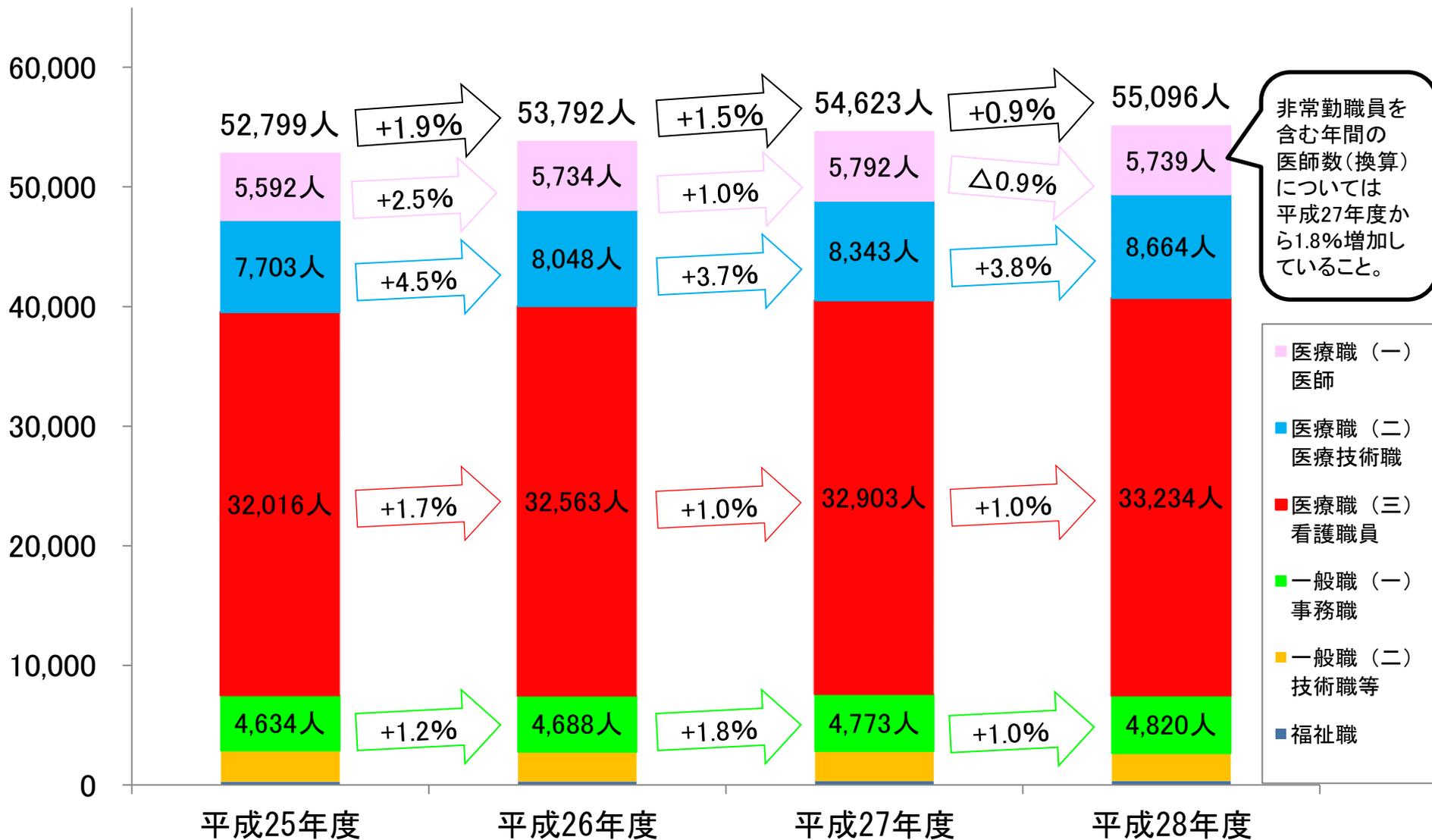
(1) 目標管理の強化

ア. 収益増にかかる主な実績

項目	平成26年度 (伸び率)	平成27年度 (伸び率)	平成28年度 (伸び率)
新入院患者数	763,181人 (+2.0%)	790,255人 (+3.5%)	791,376人 (+0.1%)
平均在院日数	13.4日 (-0.5日)	12.9日 (-0.5日)	12.7日 (-0.2日)
高点数手術件数 (2万点以上)	145,298件 (+4.0%)	153,907件 (+5.9%)	157,817件 (+2.5%)
入院診療単価	58,225円 (+2.0%)	60,042円 (+3.1%)	61,002円 (+1.6%)
救急車受入件数	285,708件 (+3.1%)	290,776件 (+1.8%)	308,724件 (+6.2%)
後発医薬品使用割合 ^(注)	61.5% (21.8pt)	76.6% (15.1pt)	83.1% (6.5pt)

(注)各年度の実績は、10月～12月の実績

イ. 職員数の推移



(注)4月時点実人員数、常勤職員のみ、長期休暇職員除く

(2) 本部による経営支援体制の強化

ア. 経営改善計画の策定支援、実行支援

支援病院、重点支援病院の基準策定

17病院(支援病院5、重点支援病院12)を選定

区分	訪問数	主な支援内容	
重点支援病院	38回	医師ヒアリング 医事業務支援	診療科ヒアリング 電子カルテ導入検討
支援病院	5回	経営改善進捗管理 経営健全化計画書策定支援 経営方針全体集会の参加	病院委員会への参加 病床再編検討 部署ヒアリング
計	43回	新院長面談 地域包括ケア導入支援	経営改善方針協議

イ. 経営情報の収集・分析・提供

- 摂食機能療法
- 退院時リハビリテーション指導料
- 経過観察入院数(緊急入院で2泊3日以内退院)
- 副傷病率
- 始業から30分の外来予約患者数
- 特定入院料稼働状況

赤十字病院グループ内の成績上位10施設の取り組みを支援病院に共有し、収支の改善に繋げる。

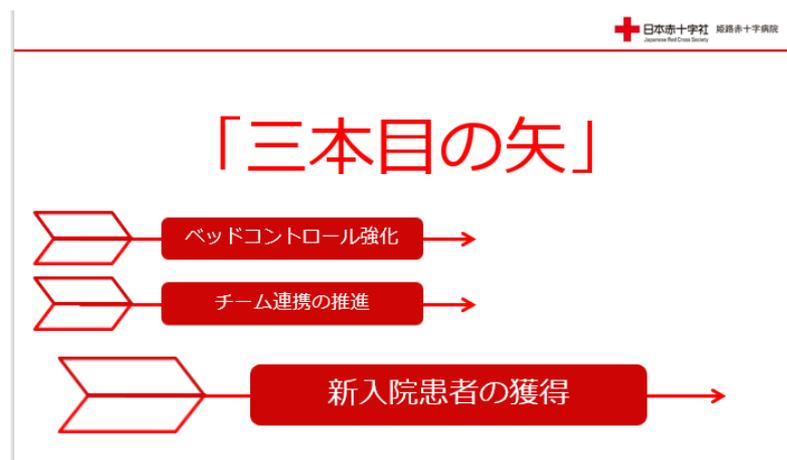
(3) 経営ノウハウの共有

3役合同経営セミナー

発表施設：足利、姫路、徳島、松山
対象者：院長、事務部長、看護部長
参加者総数：194名
全国の赤十字病院へLIVE中継



足利赤十字病院（講演風景）

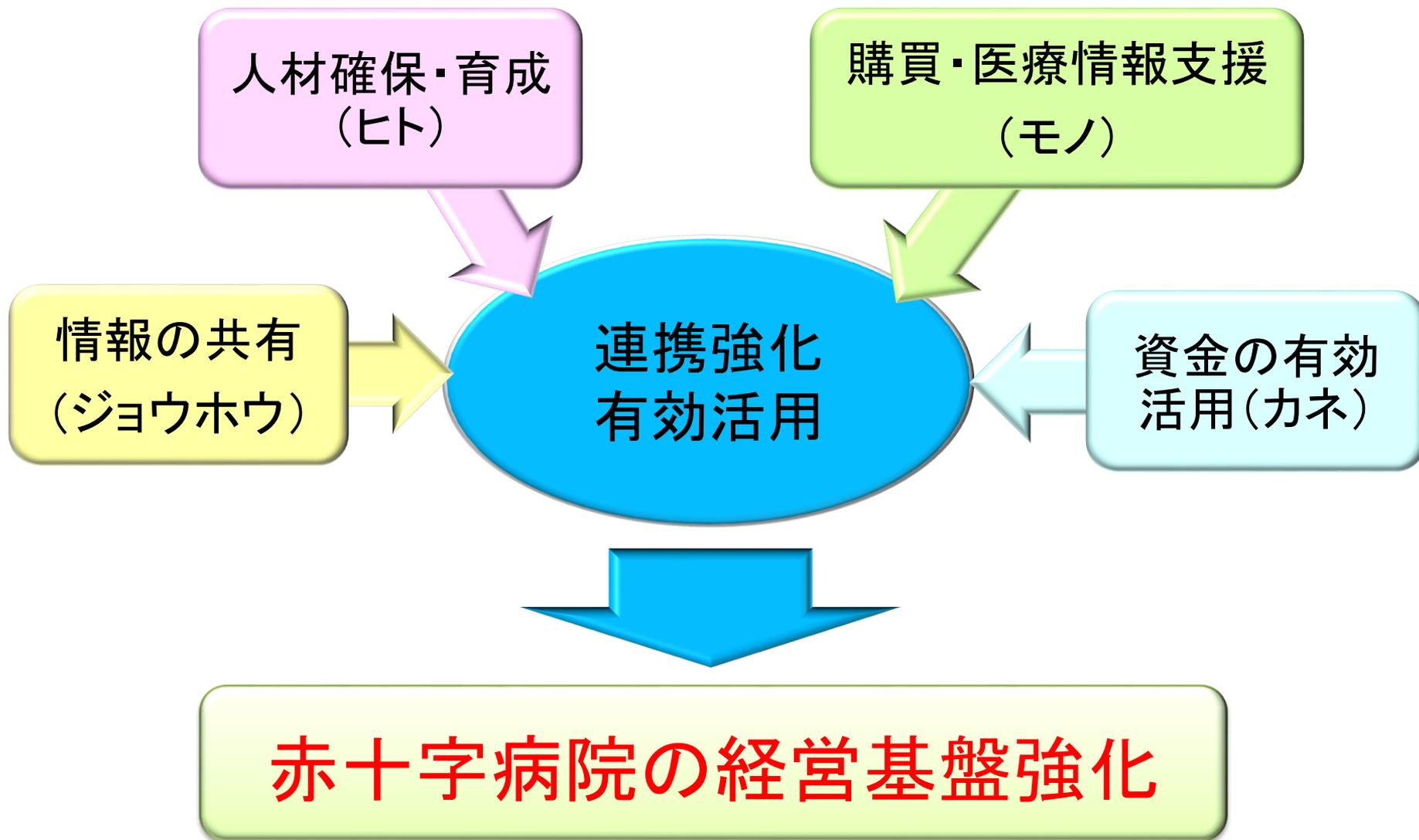


姫路赤十字病院講演資料（抜粋）



3役合同経営セミナー（聴講風景）

2. グループ経営資源の有効活用



(1) 人材の確保と育成

ア. 医師

事業名	実績
医師確保 事業	<ul style="list-style-type: none"> ○医師募集サイト掲載施設 新規3施設(掲載済み10施設) 計13施設 ○医学生向け就職説明会への出展 大阪28施設・東京39施設 ○臨床研修医向け医学教育出版 フリーペーパーKOKUTAI広告掲載(2回/年) ○地域医療振興協会(自治医)月刊地域医学 医師求人広告掲載
教育研修 事業 (医師対象)	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修医研修会開催 3回/年 計455名 ○臨床研修医指導医養成講習会開催 2回/年 計 70名

イ. 看護職員

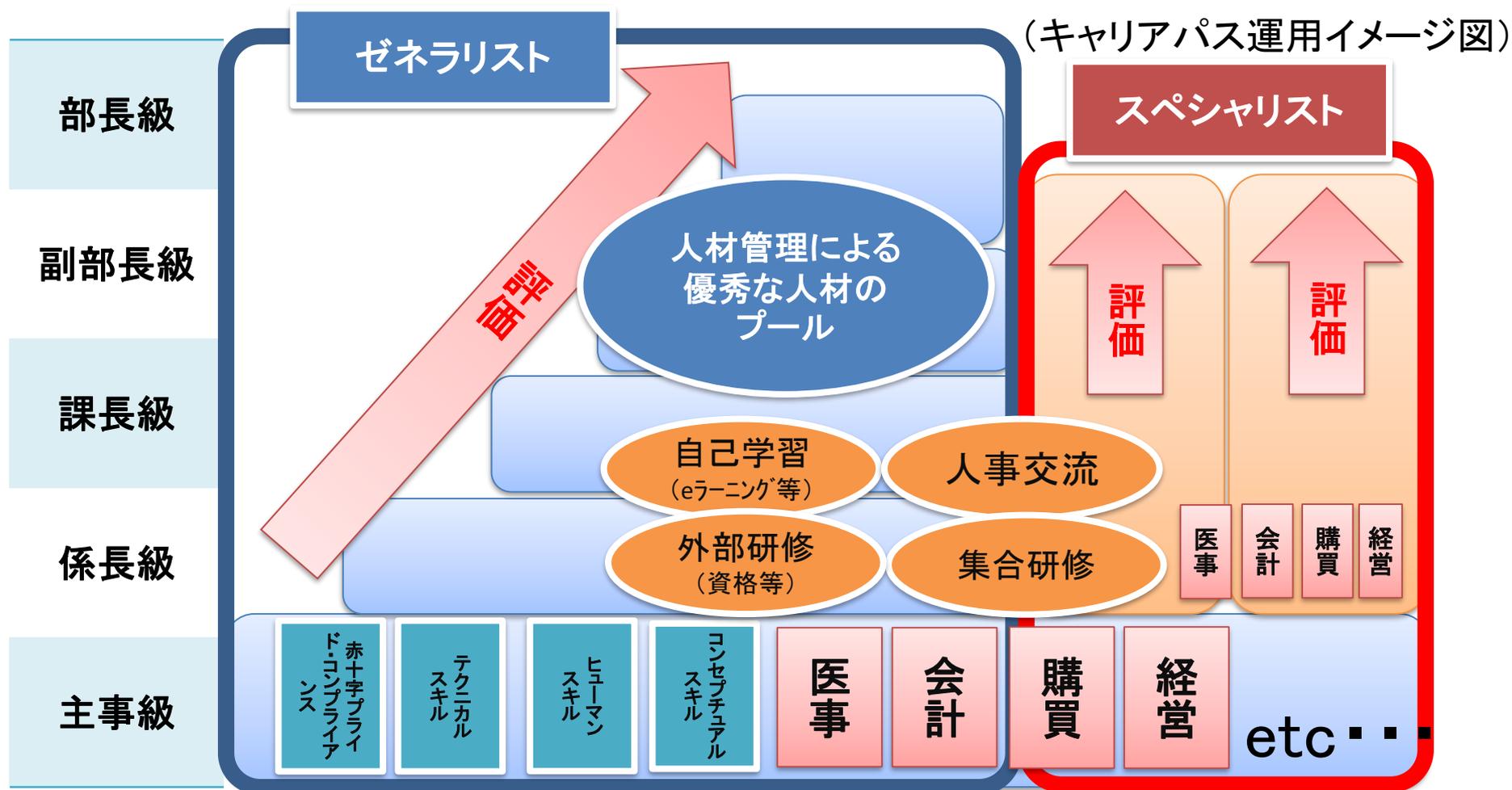
達成目標	平成28年度事業計画	平成28年度実績
看護師確保率	90%以上	98.2%※1
看護師確保率50%以下の施設数	0施設	3施設
看護師合同就職説明会開催箇所及び参加施設 (参加学生数)	3カ所 (札幌・東京・大阪) 25施設 (310人)※2	4カ所 (札幌・仙台・東京・福岡) 32施設 (574人)

※1 平成29年4月1日現在の確保率であること。

※2 看護師合同就職説明会は平成27年度実績との比較であること。

ウ. 事務職員

キャリアパスに基づく人材育成



○ 経営企画部門の人材育成

■ 業務スキル向上のための教育研修	32施設65名
■ 医療経営データ分析のための研修	65施設68名
■ 経営改善計画立案・実行のための研修	61施設62名

○ 購買部門の人材育成

■ 初任者研修会	50施設52名
■ 上級者研修会	68施設71名
■ ブロック別研修会	5ブロック全7回開催

○ 会計部門の人材育成

■ 会計業務担当者研修	83施設85名
-------------	---------

○ 医事部門の人材育成

■ 医事部門課長級研修	71施設81名
-------------	---------

(2) 購買支援、医療情報支援

事業項目	品目数	参加延数	削減金額
シリンジ・輸液ポンプ共同購入	5	53	3,680,250円
医薬品共同交渉(新規)	4	143	125,685,374円
電子カルテ導入支援(新規)	1	1	47,303,000円
電子医学資料	9	179	80,629,549円
合計	—	—	257,298,173円

共同交渉、共同購入については、共同購入体制も視野に、品目拡大を図りながら、継続・強化する。

(3) 資金の有効活用

ア. 銀行等借入金の利息による資金の外部流出抑制等を目的とした内部資金への借り換え



⇒ 平成28年度：1,700万円超の経済効果（支払利息の軽減等）

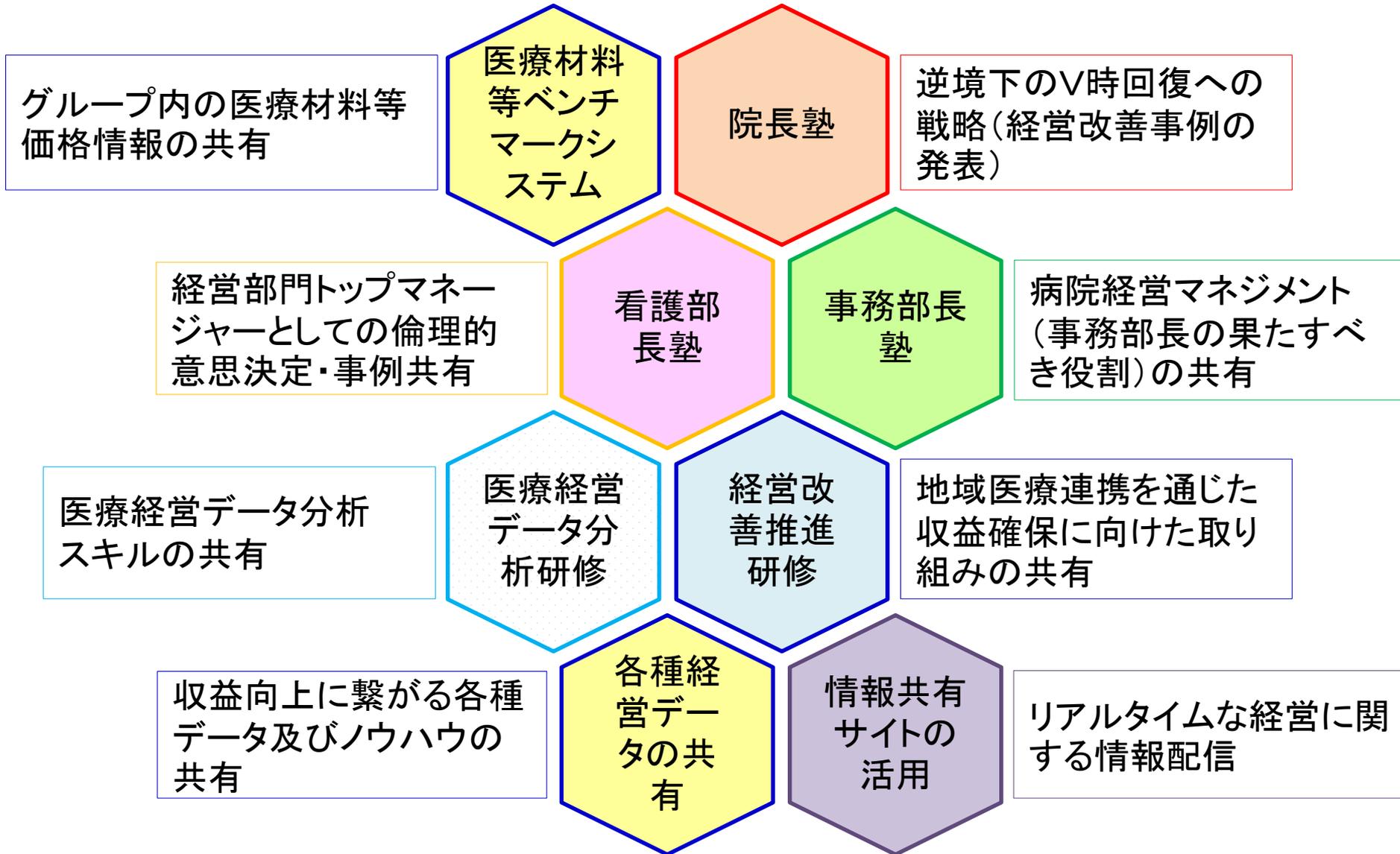
イ. 病院建物建設資金等の利率引き下げ

⇒ 金利負担の軽減によるグループ内資金の有効活用を促進

償還期間	～H28.9月	H28.10月～	【参考】H29.4月～
5年以内	年0.3%（固定）	年0.1%（固定）	年0.01%（固定）
5年超10年以内	年0.6%（固定）	年0.2%（固定）	
10年超20年以内	年0.8%（固定）	年0.3%（固定）	

※ 運転資金にかかるグループ内資金の貸付利率は平成29年度から無利子としたこと。

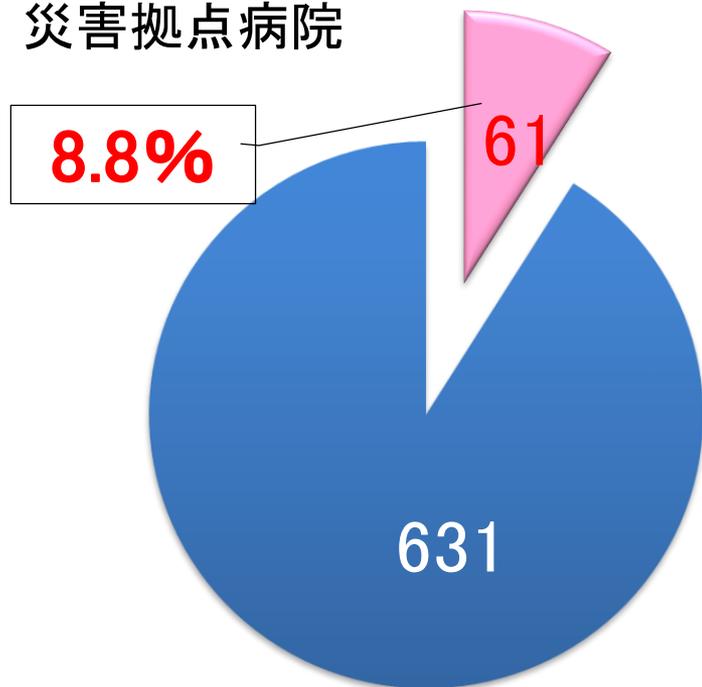
(4) 情報の共有



3. 災害医療への取り組み

(1) 災害拠点病院としての機能向上

災害拠点病院



■ 赤十字 ■ 赤十字以外

業務継続計画 (BCP) の策定状況
災害拠点病院 20病院 / 61病院
(平成29年3月31日現在)



さいたま赤十字病院 (埼玉)



益田赤十字病院 (島根)



唐津赤十字病院 (佐賀)

(2) 熊本地震対応(被災地の災害拠点病院支援)

被災地の災害拠点病院に赤十字病院グループの人的資源を集中的に投入し、地域医療を守る。



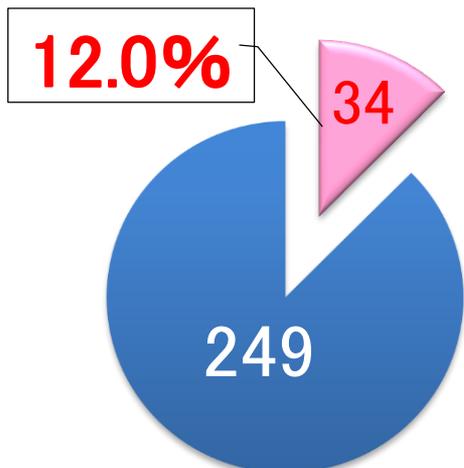
熊本赤十字病院への病院支援状況
 (平成28年4月21日～6月5日)

医師	63名
看護師	202名
事務職員	20名
病院支援コーディネーター	4名
本部支援要員	16名
総計	305名
派遣施設	65病院

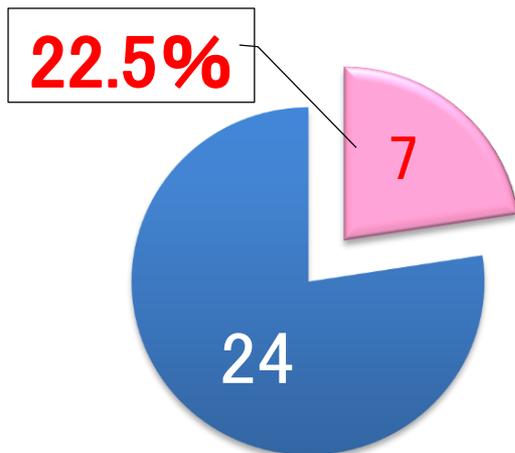
4. 地域医療への貢献

(1) 地域における医療提供体制

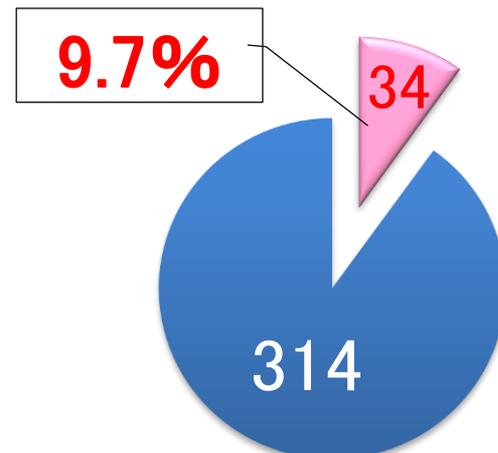
救命救急センター



小児医療救急拠点病院



地域がん診療連携拠点病院



■ 赤十字 ■ 赤十字以外

■ 赤十字 ■ 赤十字以外

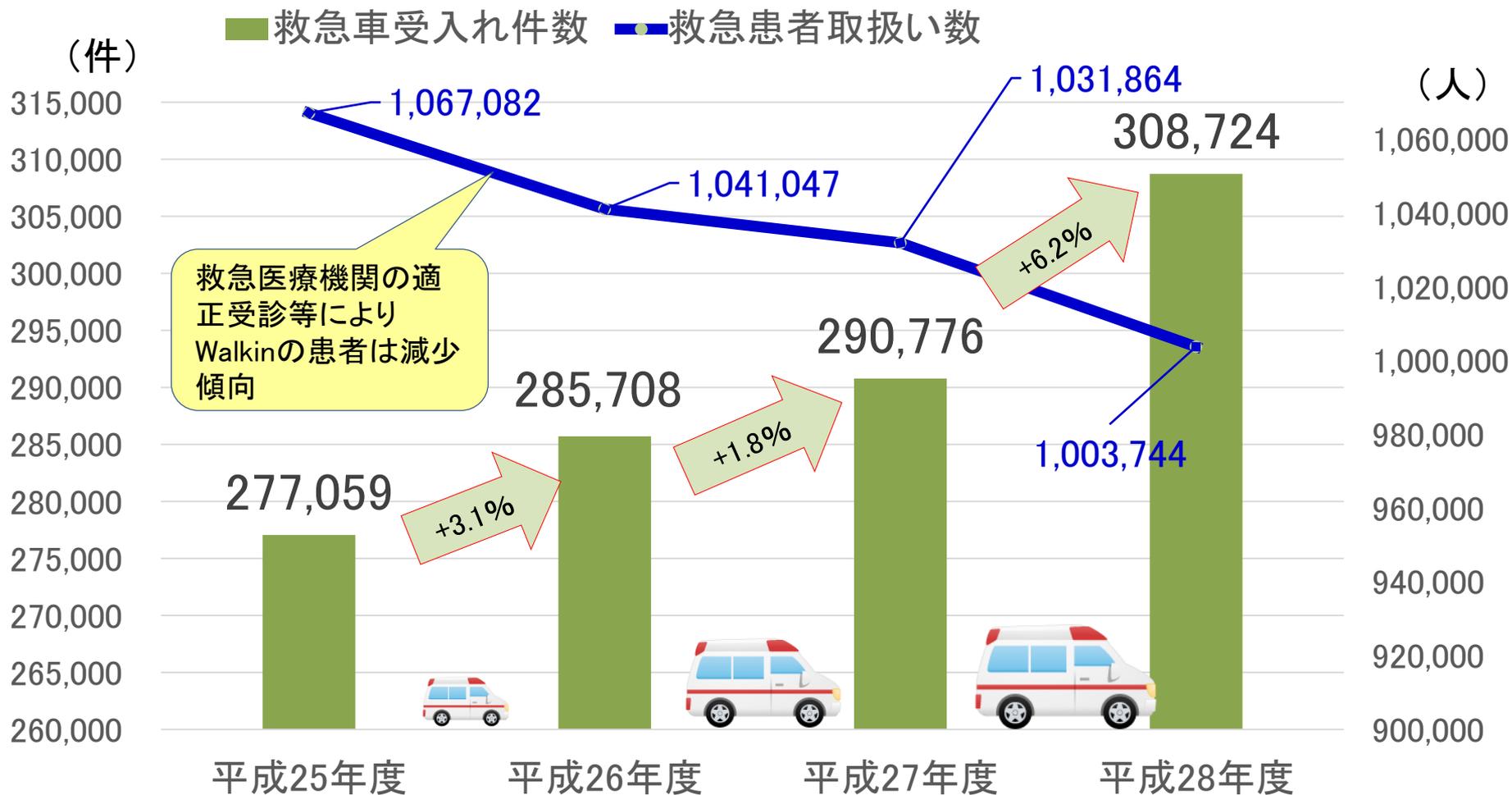
■ 赤十字 ■ 赤十字以外

名称	施設数 (赤十字)	施設数 (全国)	全国 シェア	備考
周産期母子医療センター(総合10、地域34)	44施設	405施設	10.8%	※1
地域医療支援病院	55施設	539施設	10.2%	※2
へき地医療拠点病院	17施設	312施設	5.4%	※3

※1 平成28年4月現在の指定・認定 ※2平成29年2月現在の指定・認定 ※3 平成28年1月現在の指定・認定

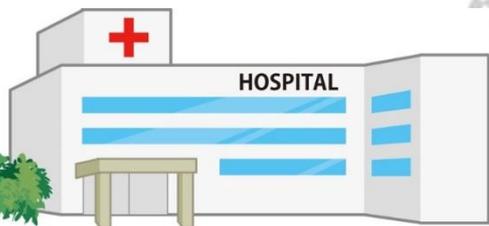
ア. 主な実績(救急医療)

赤十字病院の使命として「断らない救急」の実践



イ. 主な実績(へき地医療・地域医療)

(ア) 医師派遣



派遣者数90名

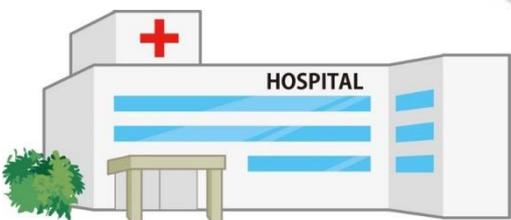
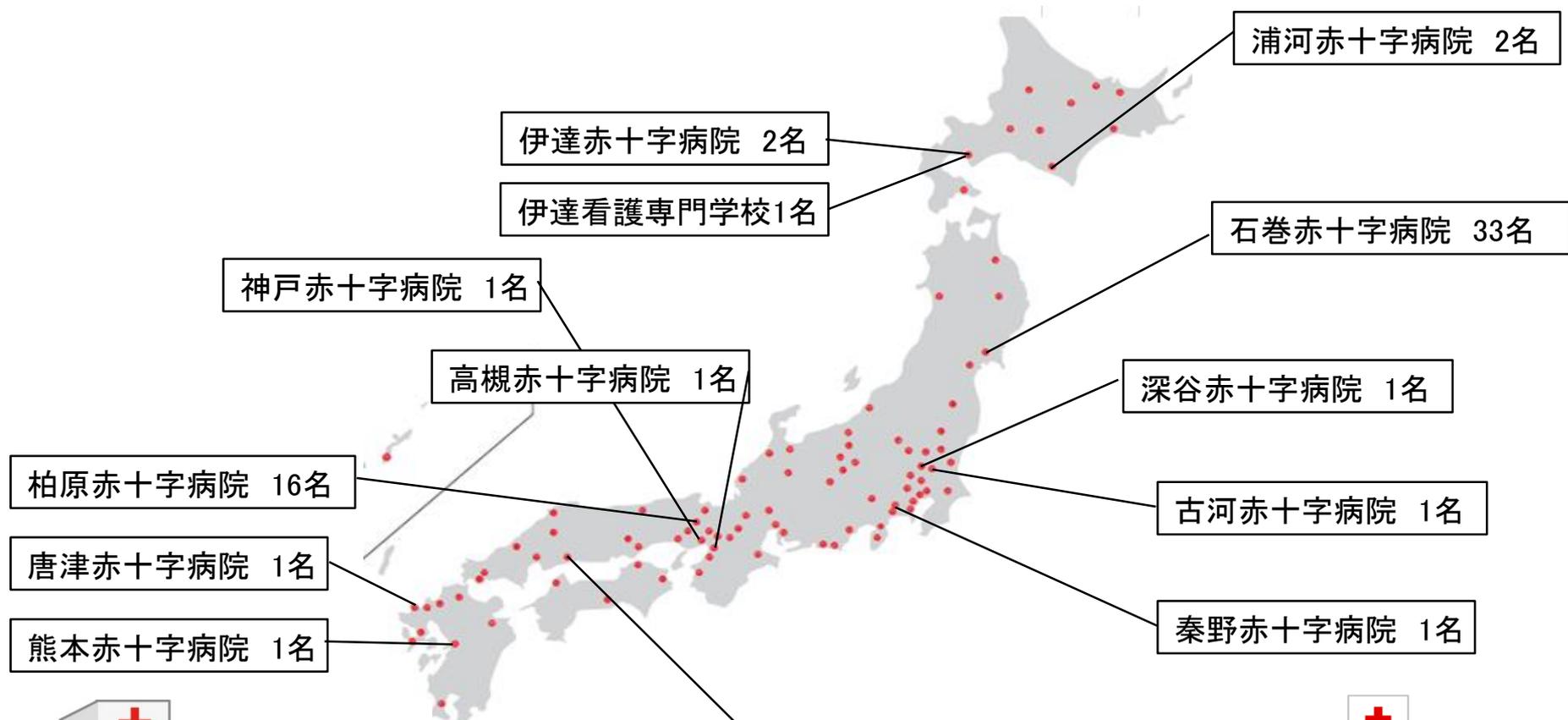


派遣元18施設



派遣先9施設

(イ) 看護師等派遣



三原赤十字病院 1名

派遣者数62名



派遣元26施設



派遣先13施設

(2) 地域包括ケアシステムへの対応

項目	平成28年度計画	平成28年度実績
認知症看護実践力向上研修の開催回数(参加者数)	8回(660名)	8回(631名)
認知症ケア加算取得状況 ケア加算1 ケア加算2	平成28年4月1日現在 15施設 4施設	平成29年3月31日現在 36施設 30施設
地域包括ケア病棟研修会の開催回数(参加者数)	2回	2回(179名)
地域包括ケア病棟・病床導入施設数 地域包括ケア病棟導入 地域包括ケア病床導入	平成28年3月31日現在 17施設 743床 9施設 155床	平成29年3月31日現在 25施設 1,139床 10施設 170床

(3) 地域の中核医療機関としての赤十字病院

- 病院92施設 ○診療所等5施設 ○老人保健施設6施設
- 看護専門学校16施設 ○助産師学校1施設

(主な機能:平成29年3月現在)

高度救命救急センター	6施設	新型救命救急センター	2施設
救命救急センター	26施設	小児救急医療拠点病院	7施設
総合周産期母子医療センター	11施設	地域周産期母子医療センター	33施設
災害拠点病院	63施設	ドクターヘリ所有病院	4施設
感染症指定医療機関	39施設	地域医療支援病院	55施設
地域がん診療連携拠点病院	34施設	へき地医療拠点病院	17施設



赤十字病院



看護専門学校



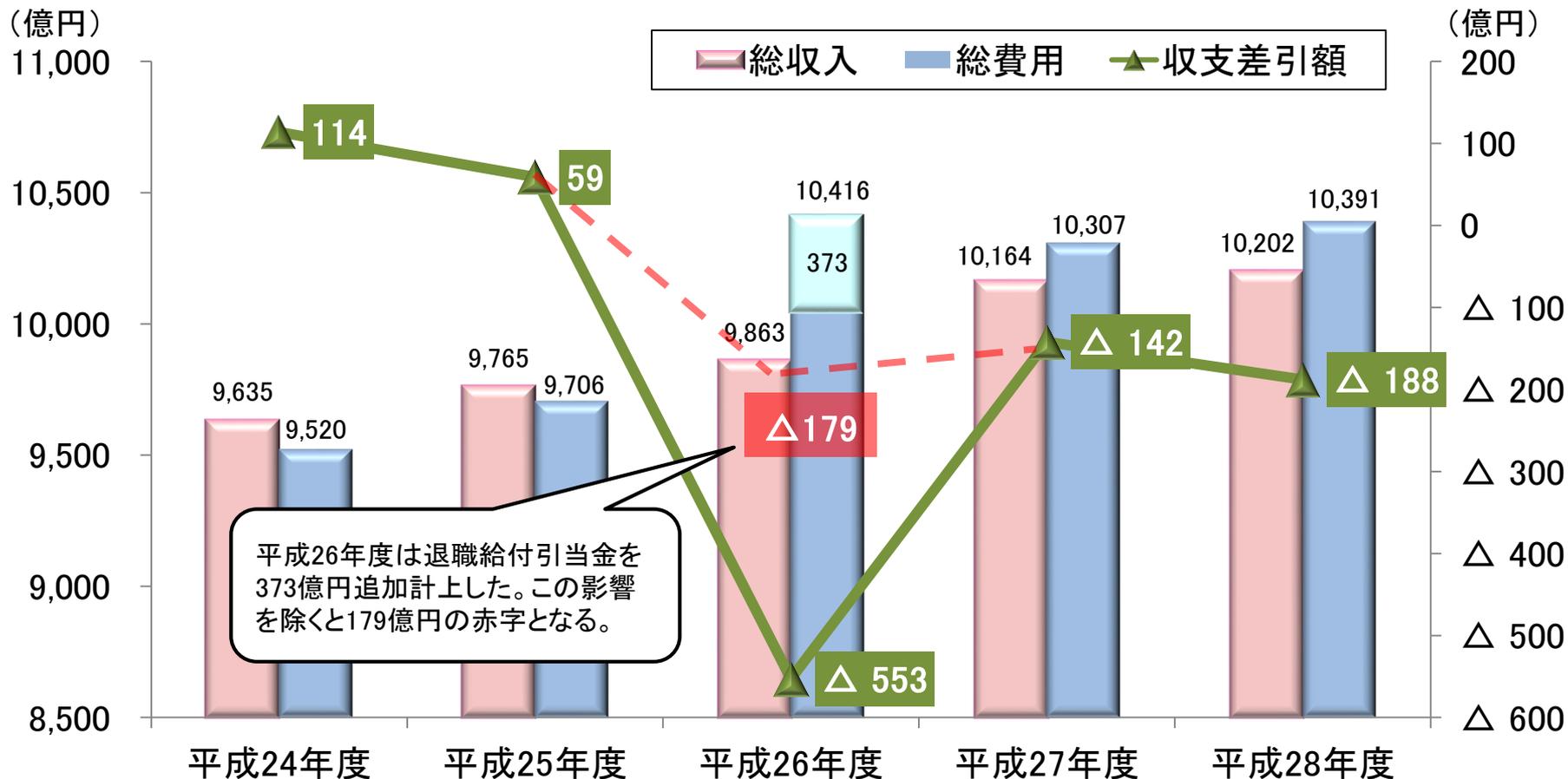
老人保健施設

5. 安心・安全な医療提供体制の充実

	開催等の実績	参加人数等
医療安全対策事業	医療事故・紛争担当者会議	79名
	医療安全推進室長会議	77名
	医療安全管理者会議	88名
	医療対話推進者養成研修（基礎編）	89名
	医療対話推進者養成研修会	62名
	医療安全管理者養成研修会	60名
	ブロック別医療安全推進担当者研修会	5ブロック
	「医療安全・感染管理指針」及び「医療事故・紛争対応ガイドライン」改訂	
	「医療安全推進担当者研修プログラム」改訂	
感染対策事業	C R E 院内感染訪問支援派遣	1施設
	感染対策相談ネットワーク相談	4施設
	感染管理担当者会議開催	87名
	「院内感染及び届出を要する感染症にかかる報告について」改訂	
	「感染管理相談ネットワーク要項」改訂	

6. 収支の推移

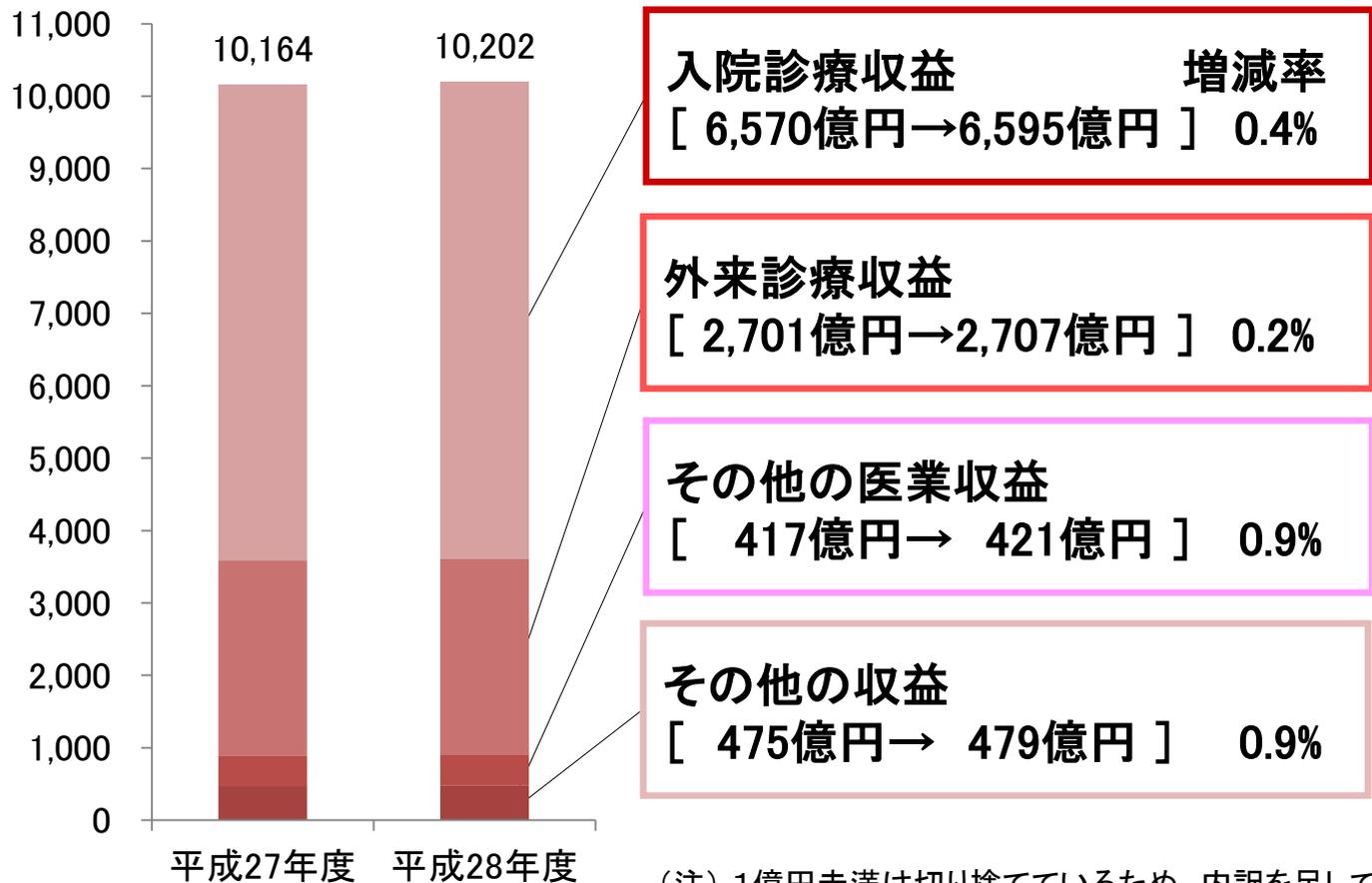
(注) 1億円未満は切り捨てているため、総収入マイナス総費用は収支差引額と一致しない場合があります。



	平成27年度		平成28年度
収支差引額	△142億円	→	△188億円
黒字施設	30施設	→	29施設
赤字施設	60施設	→	61施設

7. 医療施設特別会計 収益的収入のあらまし

(億円)



医業収益
 9,689億円
 → 9,723億円
 増減率 0.3%

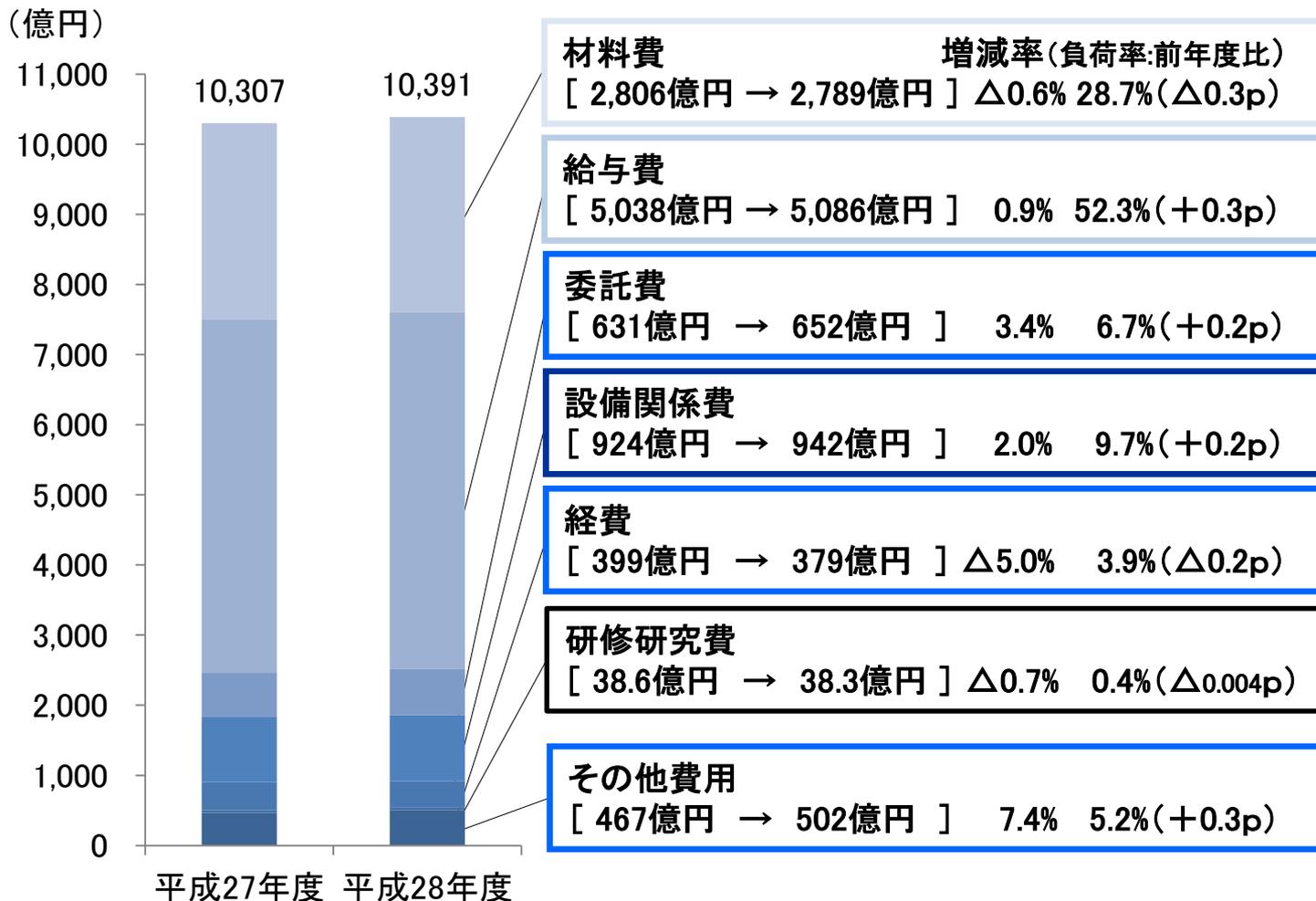
診療収益の増減率

	平成27年度	平成28年度
入院	2.6%	→ 0.4%
外来	4.8%	→ 0.2%

(注) 1億円未満は切り捨てているため、内訳を足しても合計とは一致しません

	平成27年度		平成28年度	増減額	増減率
収益的収入合計	10,164億円	→	10,202億円	37億円	0.4%

8. 医療施設特別会計 収益的支出のあらまし



医業費用
9,839億円
→9,889億円

増減率 0.5%
負担率101.7%
(+0.2p)

給与費の増減率

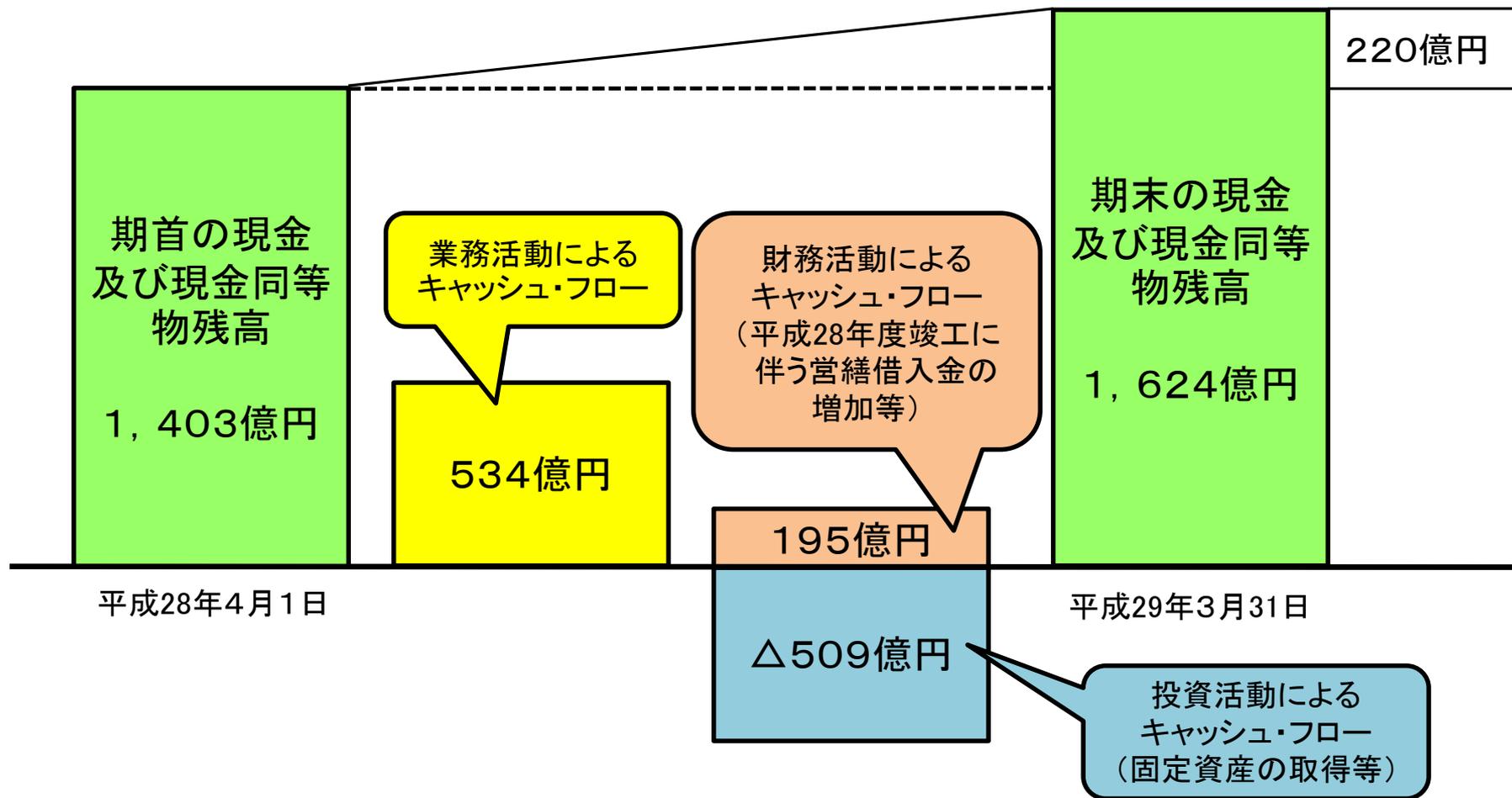
平成27年度	平成28年度
2.5%	→ 0.9%

(注) 1億円未満は切り捨てているため、内訳を足しても合計とは一致しません

	平成27年度	平成28年度	増減額	増減率
収益的支出合計	10,307億円	→ 10,391億円	84億円	0.8%
収支差引額	△142億円	→ △188億円	△46億円	

経常収支 施設勘定 △88億円
本社勘定 △10億円
資産除却、災害対応等特殊要因 △90億円
計 △188億円

9. キャッシュ・フロー



(注) 1億円未満は切り捨てているため、期中のキャッシュ・フローの増減内訳と現金及び現金同等物の増加額は一致しません。

10. 医療施設特別会計 資本的収支のあらまし

【収入】

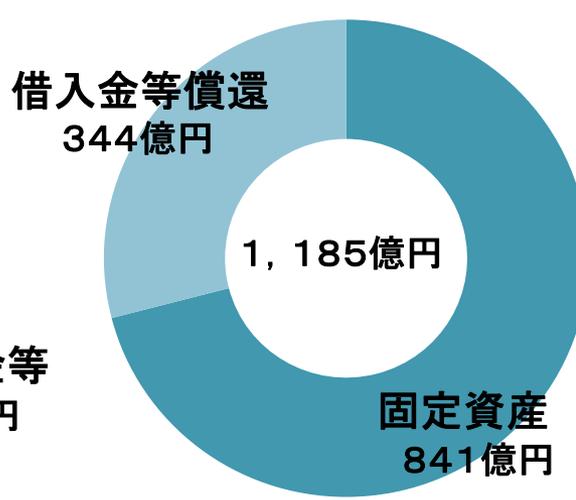
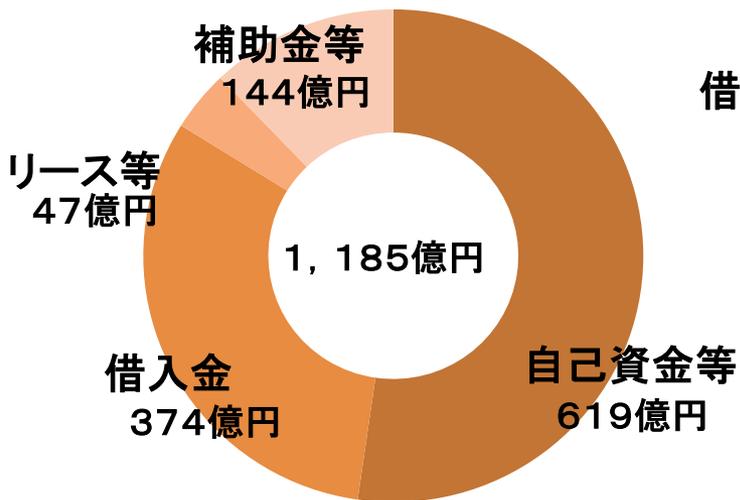
【支出】



さいたま赤十字病院



唐津赤十字病院



資本的支出の内訳

(注) 1億円未満は切り捨てているため、内訳を足しても合計とは一致しません

固定資産(内訳)	金額	借入金等償還(内訳)	金額
建物・建物付属設備等	103億円	借入金償還	286億円
医療用器械備品等	267億円	リース未払金支払	53億円
車両等	0.6億円	その他負債返済	4億円
土地	36億円	合計 344億円	
建設仮勘定	388億円	主な建築: <u>さいたま、前橋、松山</u> <u>唐津、高知 等</u>	
無形固定資産	44億円		
合計 841億円			

今後の方向性・課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
グループ運営の強化による病院運営	グループ運営体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・病院グループの理念・基本方針の策定 ・中期目標・計画等の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループとしての方針に基づく病院運営
経営基盤の強化	経営の健全化	<ul style="list-style-type: none"> ・経営情報の収集、分析、提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援の拡大
	グループ経営資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・グループメリットを活かした事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ事業の推進
災害医療への取り組み	災害医療への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害発生時における災害医療活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い病院(組織体制)づくり
地域医療の取り組み	赤十字の特色を活かした医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想に沿った機能の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の推進 ・病院の機能の明確化
安全・安心な医療提供	良質で安全な医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全研修体系の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全、感染対策の充実 ・医療の質の向上の推進
看護師等の養成	質の高い看護師の安定的な確保	<ul style="list-style-type: none"> ・救護員としての赤十字看護師・助産師の養成 ・看護基礎教育の質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学生の確保 ・看護基礎教育の質の向上 ・質の高い看護師の確保

赤十字病院グループの理念・基本方針等

赤十字病院グループの理念

私たち赤十字病院グループは、災害医療・救急医療・地域医療等の面から地域に貢献することを通じて、赤十字の理念の実践や赤十字思想の普及啓発に努めてまいります。

9つの基本方針

- 1 質の高い医療の提供
- 2 災害医療・国際活動の充実
- 3 公的医療機関として地域の医療・介護、福祉への関与
- 4 患者満足度の向上
- 5 グループ内の連携強化
- 6 赤十字事業間の連携強化
- 7 働きがいのある職場づくり
- 8 人材の確保と育成
- 9 健全経営の確立

中期目標・中期計画等

赤十字病院グループとしての中期事業計画(H29~H31)の策定

- 中期目標(48項目)
- 中期計画(111項目)
- 数値目標

平成29年度事業計画

医療施設の経営の健全化

平成31年度

経常収支黒字

平成30年度

平成31年度の経常
収支の黒字化を
目指して段階的に赤
字幅を縮小

平成29年度

平成31年度の経常
収支の黒字化を
目指して段階的に赤
字幅を縮小

赤十字病院グループ全体の中期計画
及び経営戦略を策定し、グループとして
経営改善に取り組む

平成31年度までの3か年で経常収支が黒字になる
ことを目標とする

赤十字病院の経営状況(平成27年度→平成28年度) 日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

【施設勘定】

傾向	内容	医業収支	経常収支	総収支
改善・ 好転 傾向	黒字拡大	41億円→71億円 (13施設)	41億円→73億円 (11施設)	27億円→49億円 (10施設)
	赤字→黒字	▲9億円→7億円 (7施設)	▲12億円→7億円 (9施設)	▲23億円→16億円 (9施設)
	赤字縮小	▲122億円→▲79億円 (25施設)	▲105億円→▲67億円 (25施設)	▲100億円→▲51億円 (20施設)
	計	▲90億円→▲1億円 (45施設:89億円改善)	▲76億円→13億円 (45施設:89億円改善)	▲96億円→14億円 (39施設:110億円改善)
悪化 傾向	黒字縮小	24億円→14億円 (7施設)	51億円→37億円 (10施設)	44億円→34億円 (10施設)
	黒字→赤字	8億円→▲29億円 (11施設)	15億円→▲19億円 (11施設)	14億円→▲27億円 (10施設)
	赤字拡大	▲92億円→▲150億円 (27施設)	▲72億円→▲120億円 (24施設)	▲105億円→▲199億円 (31施設)
	計	▲60億円→▲165億円 (45施設:105億円悪化)	▲6億円→▲102億円 (45施設:96億円悪化)	▲47億円→▲192億円 (51施設:145億円悪化)
総合計		▲149億円→▲165億円 (90施設:15億円悪化)	▲80億円→▲88億円 (90施設:8億円悪化)	▲141億円→▲178億円 (90施設:36億円悪化)